

「消防学校ニュース」

平成28年8月31日発行

◆県民の日 --- 消防学校訓練体験 ---

8月21日は静岡県民の日です。この県民の日の前後で県関連施設では施設を開放する等のイベントが行われます。消防学校では、小学生と保護者の方を中心に本校の訓練を疑似体験するイベント（要事前申込）を毎年実施しており、今年は8月17

濃煙からの脱出訓練



日に開催しました。

ロープ渡過、濃煙からの脱出、放水訓練、消防車試乗、花火教室、地震体験車等を

体験していただきました。参加者はリピーターも多く、毎年楽しみにしているという方もいます。また、このイベントは初任科学生にとっては広報活動の一つという位置付けとなっており、企画から運営を学生が行っています。余談ですが、このイベントに参加したことがきっかけで、消防士を目指したという学生もいます。今年の参加者の中から、消防士が誕生してくれれば、うれしい限りです。

訓練の様子は、SBSテレビ「イブアイしずおか」に取り上げていただきました。取材の皆様、猛暑の中、ありがとうございました。

防火服を着て放水訓練



◆民間企業による教育訓練(シャッター切断)の支援

8月下旬、今年も、初任科学生が鉄製シャッターをエンジンカッターで切断する実技訓練を実施しました。

本校では平成6年度から民間企業（文化シャッターサービス㈱）の御厚意で、不用になったシャッター等を無償で提供を受け、この訓練を行っています。切断訓練のための台座と一緒に、不用になったシャッター等を分解してトラックに載せ、消防学校の訓練に合わせて搬送・設置していただきました。こうした訓練環境を長年にわたり提供してくださる御厚意に対し、文化シャッターサービス㈱中部サービス支社の皆様には、厚く御礼を申し上げます。企業としての社会貢献とのことですが、誠に有り難い限りです。

シャッター切断訓練の様子



◆初任教育 8月後半の訓練

初任科の8月後半の訓練は、「消防活動訓練」では模擬家屋を使っての木造建物火災防ぎょ訓練まで進みました。「消防活動応用訓練」では、暗所での人命検索救助や防火衣完全着装での応急はしご操法などを実施しました。また、「救助訓練」では、各種の登はん、ロープ渡過、降下訓練を実施しました。

模擬家屋を使っての木造建物火災防ぎょ訓練

